

勝林奇壽報

蓮如上人ものがたり

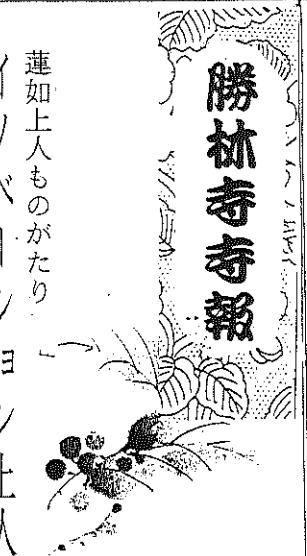
四十三歳でご門主になられた蓮如様は、今まで内にじつと蓄えておられた念願、学問、情熱がいっぺんに爆発するような勢いで「变革（イノベーション）」に噴き出していきました。それまでの本願寺は、社会にわが地位を得ようとして、貴族化の傾向をとり、日い仏教（天台宗比叡山）に迎合する姿

蓮如さまは、そのような本願寺の姿勢を大胆に打ち破り、あくまでも「凡夫あめあての念佛」の浄土真宗に変革していきました。

まず、本堂の構造を「聞法道場」（共に仏法を聞く場所）に改築なさいました。蓮如さま自身「身をすてて」お同行と「同座」して仏法を聞き語つてくださいました。

また、今までの木像・絵像などのご本尊を焼き捨て、「帰命尽十方無碍光如来」や「南無阿弥陀仏」の名号本尊をたくさん書いて広めていかれました。ともすると偶像崇拜に陥りがちであるのを、直実の如来さまは、いま、現に、「どのよくなことがあります」とあなたをすぐう」と、よびかけ勧いていてくださる如来様の「なおりのさけび」だと教えてくださいました。

と同時に、如来様のおこころを、だわ
でも共に、讀えさせていただこうと、い
ろいろ工夫なさいました。
お坊さんしか読むことのむずかしかつ
た『六時礼讃』などを廃止し、親鸞さま
のお書物の一番の眼目である『正信偈』
に『(二)和讃』をそえて、老若男女、だれ



神戸別院
教化セ、ノタ
竣工完成



もが声そろへて朝夕唱えられる「おつと
め」を発案発刊して、全国にひろめて下
さいました。

それら蓮如さまの変革、イノベーション
のうち、格段の成果の上がったものが
『ご文章』です。

『ご文章』については次回で詳説しま
すが、ともかく、蓮如さまのこの画期的
な変革によつて、お念佛は、（比叡山か
らの猛烈な弾圧にもかかわらず）あたかも庶
民の間に広がつていつたのでした。



月二十二日、入仏式・竣工式が行われました。先の大震災で工期や建設費に支障をきたしたもの、教区内外ご門徒からの厚い願いとご懇意に支えられて完成をみました。入仏竣工式に参列して頂戴した「記念の扇」です。紀元前三世紀、アシヨカ王の建てた石柱に記されてている文字です。(アメリカに送つて読んでもらいました。)「バッダ・シャカムニ・サンババ。自覚めたる、シャカ族の聖者、ここに生まる。」だそうです。

九月二十四日 出石・小人
玉井 房枝 様

一〇月	一日	多可郡仏教会講演会
	三日	仏社仏婦三役会議
	四日	王日会報恩講
	七日	中島利一氏宅法事
	八日	出石組第九期『連研』(最終回)
	九日	大石正和氏宅法事
	十日	善立寺報恩講
	十三日	同じ
	兵庫教区総代研修会(神戸)	
	一四日	大分教区総代研修会(別府)
	一五日	大分教区総代研修会
	一六日	稻木靖彦氏宅法事
	十六夜会定例法座	
	一七日	島根県大田市寺院報恩講
	一八日	大田市報恩講
	別修報恩講準備会	
	一九日	別修報恩講会場準備
	二〇日	西宗寺報恩講
	二一日	西宗寺報恩講
	二二日	長專寺報恩講
	二三日	別修(敬老)報恩講
	二八日	講講
	二九日	横山守氏宅法事
	兵庫教区門徒推進員研修会	
	三〇日	同じ(勝林寺)

